計測用ユニット・中継ユニット※5

ユニット名	型式	ユニット別最大入力チャンネル数 振動	ユニット別最大入力チャンネル数 温度／アナログ	サイズ※3 [mm]	防塵・防水等級	使用温度範囲
コンパクトモニタリングユニット※1	CU-30000/CU-30000HG	—	※2	W260×H160×D91	IP66	−5～60℃
無線局ユニット	MP-200SA-04（AC 電源駆動）	振動＋温度またはアナログ合計 4ch ※4		W260×H160×D91	IP66	
	MP-200SA-12（AC 電源駆動）	振動＋温度またはアナログ合計 12ch ※4		W560×H160×D91	IP66	
	MP-200SB-02（内部電源駆動）	振動 2ch		W152×H193×D100.5	IP65	
防爆無線局ユニット※6	MP-201SB-02（内部電源駆動）	振動 2ch		W152×H193×D100.5	IP65	
中継器（アクセスポイント）	MP-200AP	—	※5	W100×H160×D81	IP66	
防爆中継機（アクセスポイント）※6	MP-201AP	—	※5	W100×H160×D81	IP66	−5～55℃

※1 コンパクトモニタリングユニット 1 台が管理可能な無線局ユニットと無線アクセスポイントの合計は 48 台です。
　また、管理可能なセンサー数上限はそれぞれ振動 40 点、アナログ 40 点、温度 40 点です。
※2 コンパクトモニタリングユニット CU-30000/HG は、無線データ収集、保存、Web サーバー専用ユニットのため、計測機能はありません。
※3 アンテナや突起物は除きます。
※4 ご発注時に温度用かアナログ用のどちらかを指定ください。
※5 中継器（アクセスポイント）は、無線の中継専用ユニットのため、計測機能はありません。
※6 防爆構造 MP-201SB：本質安全防爆構造（Ex ic IIB T4 Gc）、MP-201AP：安全増防爆構造（Ex ec IIC T4 Gc）

振動計測部の仕様

入力信号	MP-200SA	圧電式加速度ピックアップ センサー感度　0.01 ～ 100.0mV/(m/s²) ピックアップ供給電源　DC 24V, 0 ～ 5mA	
	MP-200SB	圧電式加速度ピックアップ　2.14pC/(m/s²)	
	MP-201SB	圧電式加速度ピックアップ PU-661D, PU-671D, PU-8ANSF ※7	
測定範囲	測定モード	測定周波数	測定レンジ
	加速度 ALL	10 ～ 20kHz	500m/s²
	加速度 BPF	1k ～ 20kHz	500m/s²
	加速度 PEAK	1k ～ 20kHz	500m/s²
	速度	10 ～ 1kHz	500mm/s
	変位	10 ～ 1kHz	5000μm
計測周期	MP-200SA	10秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、12時間、24時間	
	MP-200SB MP-201SB	1分、5分、10分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、12時間、24時間	
入力信号異常判定	センサー異常（断線、短絡）		
測定条件信号	回転数信号		
警報判定	警報判定モード	上限2段階	
	警報出力タイミング	サイクルデータ計測時	
周波数解析（CU-30000HG 限定）	解析周波数レンジ	加速度 ALL、加速度 BPF 100、200、500、1k、20kHz	
		加速度 ENV、速度、変位 100、200、500、1kHz	
	FFT 周波数分解能	400、800 ライン	

※7 ケーブル長は 1.5m,5m,10m,20m に限ります。

アナログ計測部の仕様

入力信号（アナログ計測部）	入力レンジ：DC4 ～ 20mA ※8		
温度計測部	温度範囲	0 ～ 150℃ 温度誤差：±5℃	
計測周期	MP-200SA	10秒、30秒、1分、5分、10分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間、6時間、12時間、24時間	
測定条件信号	アナログ信号		
警報判定	警報判定モード	アナログ	上限2段階、下限2段階
		温度	上限2段階、下限2段階
	警報出力タイミング	サイクルデータ計測時	
	警報解除	任意操作による解除	

※8 アナログ信号入力は必ずアイソレートされた信号を入力してください。

オプション品

名称	型式
延長アンテナケーブル※9	MK-9307-05,10,20
アンテナ台※9	MK-9308-M,P
無線設定ツールセット	MK-9204
外部電池ユニット※10	MK-9310
MP-200SB 用電池ケーブル	MK-9311
交換電池（MP-200SB 用）	
交換電池（MK-9310 用）	
交換電池（MP-201SB 用）	FR6HJ※11

※9 MP-200SB、MP-201AP には使用できません。
※10 MP-200SB 用です。MP-200SB への接続には、専用の電池ケーブル（MK-9311）が必要です。MP-201SB は外部電池ユニットを使用できません。
※11 MP-201SB 用交換電池は指定の電池にて防爆認証を受けています。指定型式以外の電池は使用できません。

※特定計量器対象外　本器は取引や証明にはご使用になれません。
※Microsoft、Edge は米国 Microsoft Corporation の商標登録です。
※カタログ仕様は改良のため予告なく変更することがございます。

JFE アドバンテック 株式会社
URL：https://www.jfe-advantech.co.jp/
本社・本社工場　〒663-8202　兵庫県西宮市高畑町3-48
TEL.0798-66-1508　FAX.0798-65-7025
（計測診断事業部 第2営業部）
東京支社　〒111-0051　東京都台東区蔵前2-17-4（JFE蔵前ビル2F）
TEL.03-5825-7362　FAX.03-5825-5591
（計測診断事業部 第1営業部）
東北支店　TEL.022-711-7535　FAX.022-711-7534
名古屋支店　TEL.052-565-0070　FAX.052-565-0072
中国・四国支店　TEL.086-440-1580　FAX.086-447-3309
九州支店　TEL.092-263-1671　FAX.092-263-1675
東日本事業所　TEL.043-262-4238　FAX.043-262-4296
西日本事業所(倉敷)　TEL.086-447-4596　FAX.086-447-4605
西日本事業所(福山)　TEL.084-945-3568　FAX.084-945-5054

JC-CU-30000/HG-02A　25.03.1000

防爆エリア対応!

無線式コンパクトモニタリングユニット

CU-30000/HG

ISO9001 JQA0950

長距離無線の採用により、更に設置が簡単になったプラント監視ツール

■工場敷地内に点在する回転機械などのプロセスデータ（振動、温度、圧力など）を常時監視する小・中規模用のオンラインモニタリングユニットです。
■長距離無線の採用により広域測定が可能な上、簡単な操作で精度の高い管理が行えます。
■配線工事が削減でき、工業用途向けに耐久性の優れた機器をご提供いたします。
■お客様のニーズに合わせた機器構成によりコストパフォーマンスにも優れています。
■第２類危険箇所（Zone 2）での振動監視にも対応しています。

特　長

- ワイヤレスによる簡単設置
- アナログ信号にも対応
- 長距離通信が可能な無線ネットワーク
- 2種類の電源方式対応の無線局ユニット
- 高性能な振動計測機能
- ソフトのインストール不要



※仕様は予告なく変更することがございます。

JFE アドバンテック 株式会社

コンパクト モニタリング ユニット **CU-30000/HG**

低価格・簡単設置で試験導入にも最適

特　徴

ISO認定機械状態監視診断技術者の資格を有するセールスエンジニアが、お客様の導入をサポートします。

ワイヤレスによる簡単設置
設置、設定から運用まで短期間で始める事ができます。
無線ネットワークを用いることで、１点からでも容易に監視対象の追加が可能。

第2類危険箇所（Zone 2）対応
防爆無線局ユニットを使用すれば、危険箇所(Zone 2)での振動監視が可能です。

長距離通信が可能な無線ネットワーク
回り込み特性に優れた920MHz無線帯域を使用することで1ユニット間最長1kmの長距離通信が可能です。中継器(アクセスポイント)を介することで、最大８km まで延長できます。
※設置環境により通信距離が変化することがあります。

2種類の電源方式に対応
AC給電：最短10秒間隔の測定が可能です。
電池給電：電源配線工事が不要です。
計測周期を６時間/回にした場合、電池寿命は約５～７年となります。※ 更に外部電池ユニットを接続することで、電池寿命を延ばすことができます。
※計測周期を1時間/回にした場合、電池寿命は約2年となります。
※MP-201SBは外部電池ユニットを使用できません。
※計測周期、FFT解析の頻度などにより電池寿命が短くなります。

アナログ信号にも対応
振動、温度、圧力、流量、液位などのプロセスデータを、４～20mAのアナログ信号で取り込み、トレンド監視を行うことができます。

ソフト不要のオールインワンユニット
専用ソフトを必要とせず、ネットワークに接続されたパソコンのWebブラウザーから本体内に保存されたデータをモニタリングできるため、秘匿性が保たれます。

高性能な振動計測機能
有線システムと同じ振動ピックアップを使用するため、加速度、速度、変位の計測を行うことができ、精密診断用の振動波形データの計測が可能です。
※振動波形データの採取はCU-30000HGに限ります。

振動データ波形採取(CU-30000HG 限定)
手動によるFFT解析および警報発生時にFFTデータの自動採取が可能です。

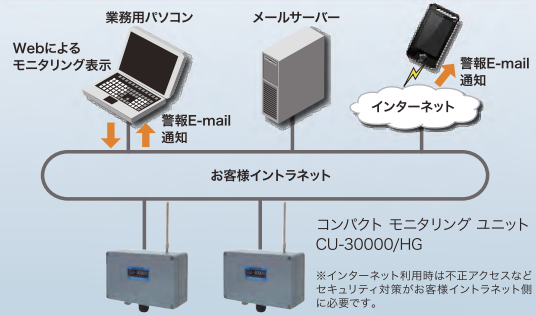
傾向管理グラフ (CU-30000HG限定)
時報、日報、月報と短期～長期間のデータ監視が可能です。

※赤字はCU-30000HG

ノートパソコン直接接続例
必要に応じてパソコンをユニットにイーサーネット接続してデータ確認

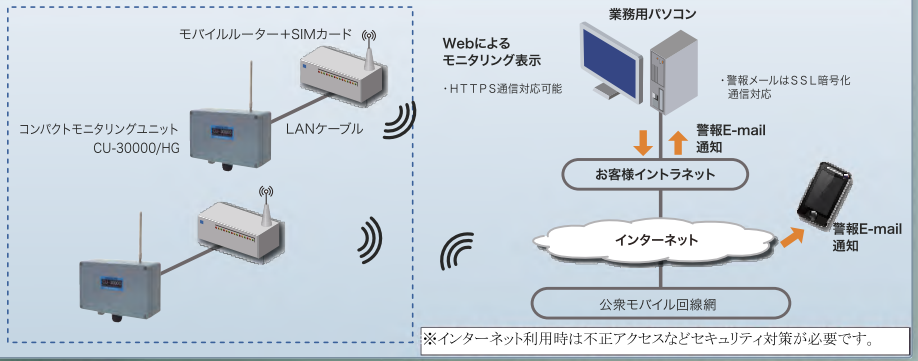


ネットワーク常時接続構成例
イントラネットあるいは専用イーサーネット回線で常時接続モニタリング



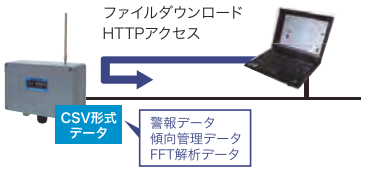
※インターネット利用時は不正アクセスなどセキュリティ対策がお客様イントラネット側に必要です。

遠隔モニタリング構成例
遠隔地の現場にコンパクト モニタリング ユニットとモバイルルーター+SIMカードを設置し、業務用パソコンから遠隔モニタリング



※インターネット利用時は不正アクセスなどセキュリティ対策が必要です。

CSVダウンロード機能



コンパクトモニタリングユニット本体に記憶されているcsv形式データをダウンロード可能です。

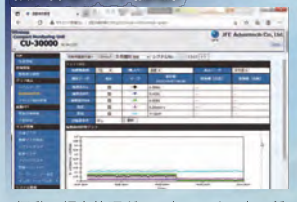
Web画面表示例

警報履歴リスト



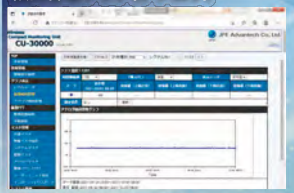
警報の発生履歴一覧です。発生日時、警報発生のセンサー種別、警報種別を確認できます。

傾向管理グラフ(振動)



振動の傾向管理グラフ表示です。表示種別は「サイクル」「時報」「日報」「月報」の４種類あります。
※「時報」「日報」「月報」はCU-30000HG限定です。

傾向管理グラフ(アナログ)



入力したアナログ値の傾向管理グラフ表示です。表示種別は「サイクル」「ベース報」「時報」「日報」「月報」の５種類あります。
※「ベース報」「時報」「日報」「月報」はCU-30000HG限定です。

レベルメーターグラフ



計測中の全信号の直近測定値をレベルメーター表示します。

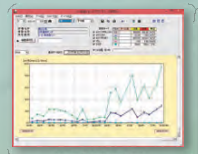
FFT グラフ



手動でFFT採取する以外に警報発生時には自動でFFT採取を行います。
※FFT採取はCU-30000HG限定です。

MK-220データ管理ソフトとの連携

『MK-220データ管理ソフト』にCU-30000HGから出力したCSVデータを取り込むことで傾向管理や精密診断(ベアリング傷、アンバランス等の診断)が可能です。


傾向管理グラフ


診断報告書

超低速回転軸受けの診断が可能

CU-30000/HGに当社製AE診断計「MK-71」を組み合わせることで、振動では困難とされる超低速(1～150rpm)回転軸受の診断が可能です。





AE診断器